

2022 年 8 月 23 日

東京都知事 殿

住 所 東京都八王子市南大沢一丁目1番

氏 名 東京都公立大学法人

理事長 山本 良一

〔法人にあっては名称、代表者の氏名
及び主たる事務所の所在地〕

地球温暖化対策報告書提出書

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例第8条の23〔第1項〕の規定により
地球温暖化対策報告書を次のとおり提出します。

地球温暖化対策事業者 温室効果ガス排出事業者 の氏名（法人にあっては 名称及び代表者の氏名）	東京都公立大学法人 理事長 山本 良一
地球温暖化対策事業者 温室効果ガス排出事業者 の住所（法人にあっては 主たる事務所の所在地）	〒192-0397 東京都八王子市南大沢一丁目1番
地球温暖化対策報告書	別添のとおり
連 絡 先	東京都公立大学法人総務部 施設課施設係 高橋 淳一 電話番号 042-677-3141 takahashi-junichi@jmj.tmu.ac.jp

※受付欄

(事業者番号：A0963)

(日本産業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その1)

1 事業者の氏名等

事業者の氏名 (法人にあっては名称 及び代表者の氏名)	東京都公立大学法人 理事長 山本 良一				
事業者番号	A	0	9	6	3

2 報告する事業所等の全体の状況(2021年度の状況)

条例第8条の23第1項 報告事業所数	0	事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	0	kl
条例第8条の23第2項 報告事業所数	5	事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	2,756	kl

3 報告する全事業所における合計二酸化炭素排出量の状況

合計二酸化炭素排出量	5,329	t
------------	-------	---

4 評価の対象とする事業所等の範囲

評価対象事業所等	☐ 義務提出事業所等	☒ 全事業所
----------	-----------------------------------	--

5 評価対象事業所等における直近5か年度の状況

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
合計二酸化炭素排出量	5,837.00	5,723.00	5,498.00	4,743.00	5,329.00	t
合計延床面積	138,233.58	138,228.78	138,228.78	138,841.47	138,905.47	m ²
合計原単位	42.22562	41.40237	39.77464	34.16126	38.36421	kg-CO ₂ /m ²

平均合計二酸化炭素 排出量削減率	2.25	%
平均合計原単位改善率	2.36	%

6 再生可能エネルギーの利用事業所数及び割合

再生可能エネルギー 利用事業所数	0	事業所
再生可能エネルギー 利用事業所率	0	%

7 評価結果

地球温暖化対策の 取組に係る評価	S	ランク
---------------------	---	-----

8 実績年度の目標達成の状況

実績年度の 目標達成の状況	☒	目標達成した。
------------------	-------------------------------------	---------

9 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☒ 有	☐ 無
合計二酸化炭素排出量削減率	1	%
合計原単位改善率	1	%
再生可能エネルギー導入事業所率		%
その他の	特記事項に内容を記載	

10 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	1
----------	---

11 事業者としての取組

取組方針	①南大沢キャンパスの取組・・・大規模事業所となる南大沢キャンパスにおいては、第3計画期間(2020～2024年度)において5年平均27%以上のCO2削減義務を達成できるよう毎年度毎に目標を定め取り組む②各キャンパスの取組・・・中小規模事業所となる各キャンパスにおいては、省エネ法における中長期期間(2020～2024年度)内において、エネルギー消費原単位年平均1%以上の低減義務を達成できるよう毎年度毎に目標を定め取り組む③その他・・・大学全体(教員、職員、学生)が一体となって取り組む			
組織体制の整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A106	本社等による支店の支援
	A102	温暖化対策推進担当の配置	A107	排出状況の整理・分析・提供
	A103	具体的な取組目標と内容の設定	A108	組織横断的な推進体制の整備
	A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	A113	推進担当者の知識向上・内部還元

12 特記事項

・夏の省エネ・節電対策では、以下①～③の取組等を行った①冷房中の室温は概ね28℃程度とする②照明は業務上特に必要な照明を確保しつつ大幅に削減し、使用していない箇所の消灯を徹底する③席を長時間外す際にはパソコンをこまめにシャットダウンするほか、節電ソフト等により、温室効果ガスの削減を図っている・施設については、施設整備計画に基づき計画的に順次更新しており、それにより、温室効果ガスの削減を図っている・温暖化対策推進体制は、法人に委員会、各キャンパスに部会を設置して対策に取り組んでいる・省エネ法に基づきエネルギー管理標準を整備し、活用している・実施年度目標・省エネ法に基づく原油換算エネルギー使用量前年度比1%減

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	日野キャンパス									
事業所番号	A	0	9	6	3	-	0	0	0	1
事業所等の所在地	〒	1	9	1	-	0	0	6	5	区市町村名 日野市
	町名番地下	旭が丘六丁目6番地								
事業所等の延床面積	33,765.40		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	6	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	1,089	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	2,126	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	6	t
	総計(④=②+③)	④	2,132	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	62.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	186,151.1	45.00	8,376.8	0.0136	417.7	
	その他(A重油)		☐	L	560.0	39.10	21.9	0.0189	1.5	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	2,086,735.0	9.97	20,804.7	0.4890	1,020.4	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	1,403,714.0	9.28	13,026.5	0.4890	686.4	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	42,229.9	⑭	2,126.1
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	9,968.0			0.2660		2.7
	公共下水道		☐	m ³	10,725.0			0.4000		4.3
合 計									⑮	6.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩}=(\text{⑧}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止		
		C114	事務用機器を省エネモードに設定		
	設備保守対策				
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人体感センサの採用
				E111	ポンプ・ファンのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☒ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・エネルギー使用量把握及び省エネ対策検討・実施・HPへ夏季の省エネについての学長メッセージを掲載・グリーン購入について仕様書への記載・エコリーダーを通じた学生によるエコ活動の推進・タブレット利用によるゼミ資料のペーパーレス化

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	荒川キャンパス									
事業所番号	A	0	9	6	3	-	0	0	0	2
事業所等の所在地	〒	1	1	6	-	8	5	5	1	区市町村名 荒川区
	町名番地以下	東尾久七丁目2番10号								
事業所等の延床面積	29,635.27		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	6	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	556	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,083	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	1,085	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	36.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	93,311.2	45.00	4,199.0	0.0136	209.4
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	1,160,962.0	9.97	11,574.8	0.4890	567.7
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	626,493.0	9.28	5,813.9	0.4890	306.4
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	㉔	0.0	9.76	㉕	0.0
合 計							㉖ 21,587.6		㉗ 1,083.5
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	4,325.0			0.2660	1.2
	公共下水道		☐	m ³	3,685.0			0.4000	1.5
合 計									㉘ 2.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩} = (\text{⑥} / 1,000) \times \text{⑨}$ とする。

※2 $\text{⑪} = (\text{都が指定する原単位} \times \text{延床面積} \times \text{事業所等の総稼働時間}) / 1,000$

$\text{⑫} = (\text{⑪} / \text{電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)}) \text{の係数} \times 1,000$ $\text{⑬} = (\text{⑫} / 1,000) \times \text{⑨}$ とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB09	空室・不在時等の空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人体感センサの採用
		E114	高効率パッケージの採用	E111	ポンプ・ファンのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☒ 有	☐ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・空調の新增設を考慮し、中央空調設備やボイラー等を効率的に運用・不要な照明の消灯、個別空調の室温管理の周知を徹底・教育研究に差し支えない範囲で、中央式空調の温度調整を行う・空調・照明消し忘れシールの配布及び貼り付けを行い、啓発強化を図る・各学年向けガイダンスにおけるエコへの取組説明

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	晴海キャンパス									
事業所番号	A	0	9	6	3	—	0	0	0	3
事業所等の所在地	〒	1	0	4	—	0	0	5	3	区市町村名 中央区
	町名番地下	晴海一丁目2番2号								
事業所等の延床面積	9,869.02		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☒ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	6	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	146	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	280	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	281	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	28.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	33,622.2	45.00	1,513.0	0.0136	75.4	
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	419,313.0	9.97	4,180.6	0.4890	205.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	5,693.5	⑭	280.5
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	1,769.0			0.2660	0.5	
	公共下水道		☐	m ³	2,058.0			0.4000	0.8	
合 計									⑮	1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A502	ビルで設置する推進体制への協力
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策			CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB09	空室・不在時等の空調停止
	設備導入対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・建物の一部使用のため、建物所有者の要請に従い電力使用抑制対策を行う

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	品川シーサイド・高専品川キャンパス									
事業所番号	A	0	9	6	3	—	0	0	0	4
事業所等の所在地	〒	1	4	0	—	0	0	1	1	区市町村名 品川区
	町名番地以下	東大井一丁目10番40号								
事業所等の延床面積	34,139.54		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	6	3	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	523	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	997	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	4	t
	総計(④=②+③)	④	1,001	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	29.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	30,945.8	45.00	1,392.6	0.0136	69.4	
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	1,896,883.0	9.97	18,911.9	0.4890	927.6	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh		0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh		0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	20,304.5	⑭	997.0
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	4,852.0			0.2660	1.3	
	公共下水道		☐	m ³	7,248.0			0.4000	2.9	
合 計									⑮	4.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩} = (\text{⑧} / 1,000) \times \text{⑨}$ とする。

※2 $\text{⑪} = (\text{都が指定する原単位} \times \text{延床面積} \times \text{事業所等の総稼働時間}) / 1,000$

$\text{⑫} = (\text{⑪} / \text{電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)}) \text{の係数} \times 1,000$ $\text{⑬} = (\text{⑫} / 1,000) \times \text{⑨}$ とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更		
		C109	空室・不在時等の空調停止		
		C114	事務用機器を省エネモードに設定		
	設備保守対策				
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
		E114	高効率パッケージの採用	E111	ポンプ・ファンのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・建物管理委託業者と連携し、エコキャンパス・グリーンキャンパス推進委員会を踏まえつつ教育研究環境を考慮した空調機器の運用を実施・時間外や土日の施設利用時に、授業等の状況を踏まえたうえで、可能な限り空調時間等を精査した運用実施・中間期運用、冷房運転開始にあわせ、教授会や教職員全体メールにて、省エネ・節電について周知徹底

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	高専荒川キャンパス									
事業所番号	A	0	9	6	3	—	0	0	0	5
事業所等の所在地	〒	1	1	6	—	0	0	0	3	区市町村名 荒川区
	町名番地以下	南千住八丁目17番1号								
事業所等の延床面積	31,496.24		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	6	3	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2021年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	442	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	843	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	845	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	26.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	57,542.1	45.00	2,589.4	0.0136	129.1
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	1,460,476.0	9.97	14,560.9	0.4890	714.2
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計							⑬ 17,150.3		⑭ 843.3
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	3,910.0			0.2660	1.0
	公共下水道		☐	m ³	3,415.0			0.4000	1.4
合 計									⑮ 2.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩} = (\text{⑥} / 1,000) \times \text{⑨}$ とする。

※2 $\text{⑪} = (\text{都が指定する原単位} \times \text{延床面積} \times \text{事業所等の総稼働時間}) / 1,000$

$\text{⑫} = (\text{⑪} / \text{電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)}) \text{の係数} \times 1,000$ $\text{⑬} = (\text{⑫} / 1,000) \times \text{⑨}$ とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
		C109	空室・不在時等の空調停止	CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CB08	温度計等による室温の把握と調整
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
		E114	高効率パッケージの採用	E111	ポンプ・ファンのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況



目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・建物管理委託業者と連携し、設備の効率的な運用を実施・空調温度(夏季28℃、冬季20℃)の徹底・一般的な啓発ではなく、具体的な省エネ行動を促すポスター等を学内の目立つ場所に掲示・中間期運用、冷房運転開始にあわせ、教授会や教職員全体メールにて、省エネ・節電について周知徹底